

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 神戸市立中央体育館 Gコート

試合区分: No. 405 少年女子 1回戦

期 日: 2006(H18)年10月1日(日)

主審: 鈴木 弘美

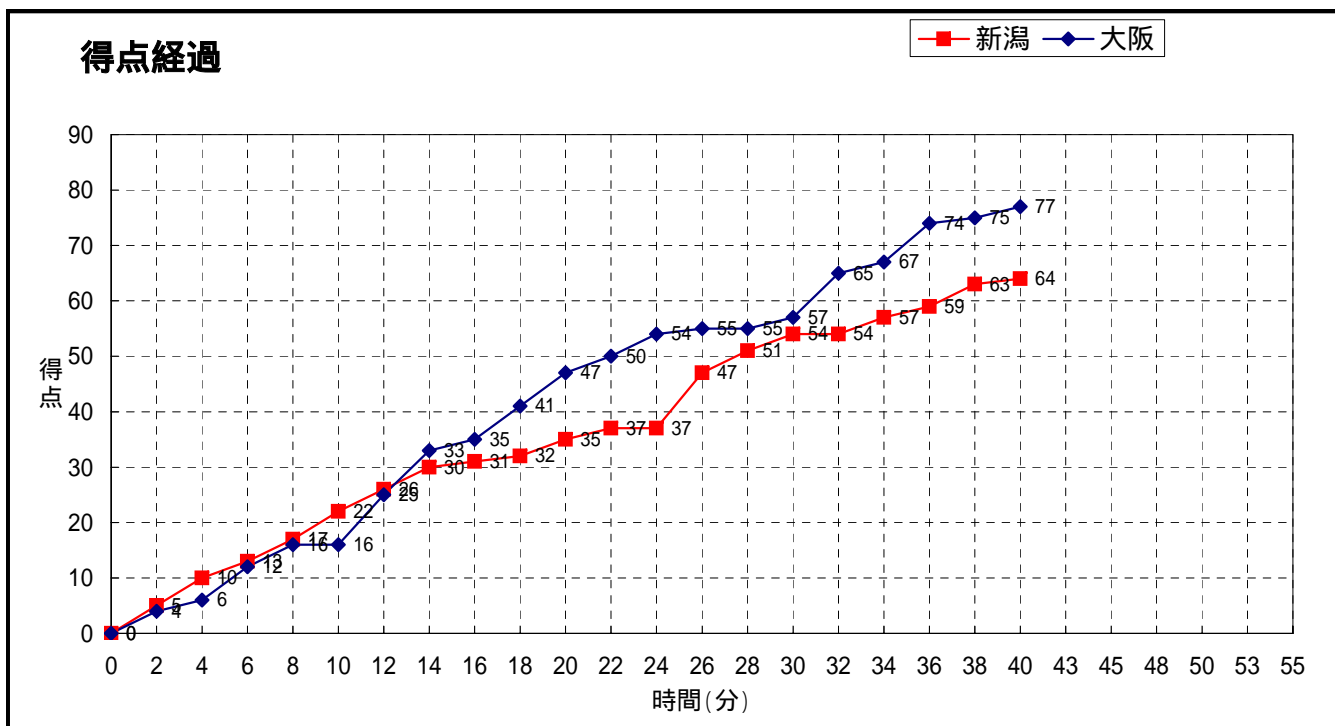
開始時間: 11:45

副審: 垣尾 正幸

終了時間: 13:16

大阪						新潟									
(近畿)						(北信越)									
77						64									
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	上部 麻衣	12	1	3	3	4	4	*	赤澤 里佳	30	5	6	3	3
5	*	高山 秋奈	10	3	0	1	5	5	*	大久保 幸恵	0	0	0	0	2
6	*	広倉 千夏	9	1	2	2	0	6	*	小林 のぞみ	14	0	5	4	2
7		瀬戸 あゆみ	0	0	0	0	1	7		古寺 結衣	0	0	0	0	1
8		堀内 聡美	6	0	3	0	0	8		式部 彩乃	0	0	0	0	0
9		井田 真由美	4	1	0	1	1	9		井上 希望	-	-	-	-	-
10		根田 有莉奈	12	0	4	4	1	10	*	穂苅 有希	10	2	1	2	3
11		近藤 由美	2	0	1	0	2	11	*	中村 茜	7	0	2	3	5
12		小山 知郷	2	0	1	0	0	12		高橋 千夏	1	0	0	1	1
13		横田 恵子	-	-	-	-	-	13		徳間 千夏	-	-	-	-	-
14	*	藪田 早紀	11	0	4	3	1	14		加藤 佑理	-	-	-	-	-
15	*	石井 明日美	9	0	4	1	4	15		赤川 愛	2	0	0	2	2
コーチ		三差 政利						コーチ		本多 哲朗					
合計			77	6	22	15	19	合計			64	7	14	15	19

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、大阪はオールコートマンツーマン・ディフェンス、新潟はハーフコートマンツーマン・ディフェンスでスタートする。新潟は開始3分でチームファールが4となり苦しい展開となるが、大阪もシュートミスを重ね、一進一退のリズムでゲームが進んでいく。ディフェンスリバウンドを頑張った新潟が、22-16とリードして終了する。第2ピリオド、新潟は#11中村にボールを集めインサイドで得点を重ねていく。一方、大阪は、#10根田のバスケット・カウントと#9井田の3Pで33-30とリードする。新潟は、2回のタイムアウトで流れをかえようとするが、39-31と大阪のリードは変わらない。大阪は全員交代し、リードを広げようとする。結局、#4上部、#10根田、#6広倉の1on1で得点を重ねた大阪が、47-35とリードして終了する。第3ピリオド、大阪はディフェンスのプレッシャーを強め、相手のシュートミスをかさそう。新潟は、開始から得点できなかったが、大阪のファールによるフリースローと速攻で得点。残り4分、大阪は55-44と新潟に迫られたところでタイムアウト。新潟は、2-3のゾーンに切り替え、点差を縮めようとする。残り3分で大阪の6点リード。その後、新潟#4赤澤の活躍で、57-54と追いつき、終了する。第4ピリオド、開始すぐに、大阪は2本の3Pシュートで得点。新潟は、早めのタイムアウトで流れを切ろうとする。タイムアウト後、3-2のゾーンディフェンスに変化、大阪のミスをかさそう。一方、大阪はパスカットからの速攻で持ち味を出して加点し、70-57と大阪がリードしたところで、新潟は2回目のタイムアウト。新潟は70-61で3回目のタイムアウトを取り、オールコートディフェンスに切り替えるも、リズムを崩すことなく、大阪が77-64で勝利した。

担当者: 山戸 英二(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会